

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	体験講座 マネープランニング		
法人名	学校法人 青森田中学園		
学校名 ((2) のみ)	青森中央経理専門学校		
代表者	理事長 石田 憲久	担当者 連絡先	鈴木 伸吾 017-728-0145
<p>1. 事業の概要</p> <p>金銭教育の一環として、ライフプランや、マネー設計の基礎を体験する。 お金の役割や使い方、暮らしの中でのお金に関する知識、家計簿などの診断や簿記や会計の基礎を紹介。 FPの仕事内容、様々な金融用語や経済用語に触れお金に関する基本的な知識も紹介する。 「お金のありがたみ」も体感し、自分の進路や将来設計を考えるうえでの一助とし、将来、財務・経理、FP等の 金融関係への道を希望する高校生への早期の動機付けとする。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>「金融経済に興味がある」は講座前57.9%→79.0%「金融関係の職業に就きたいか」は講座前31.6%→52.6% 「金融関係の勉強をしたいか？」は講座前60.5%→79.0%以上のアンケートからも見受けられるように金融・経 済の興味のきっかけ作りになり、職業観の涵養にも繋がったのではないかと。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>実際に保険業界で「仕事」をしている方を講師としてお招きし、保険業界の現状や事例また仕事の喜び等をお話いただいた。誕生から高校生までにかかった金額を算出したり、金融ソフトを使用し年金額等をシミュレーションしお金の大切さを再認識してもらった。</p> <p>③今後の活用</p> <p>金融教育のニーズに専修学校がマッチしていけるように高等学校に働きかけていきたい。高等学校に出張しての講座も一考。アンケートからは38人中34人(89%)が高等学校以下での金融関係の授業を必要と回答している。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>高校側としては年度当初或いは、年度前に総合学習等の授業の計画を組み入れるため動員について難航した部分があった。オープンで開講する際は宣伝・広告について検討が必要と考える。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

平成19年12月8日(土) 講話「ライフプランニング」 青森県内高校生11名参加。於:青森中央経理専門学校
 難しかったがとても興味深く聞くことができた(6名)勉強になった・自分の為になった(3名)等の声があった。

平成19年12月18日(火) 講話「ライフプランニング」 青森県内高校生27名参加。於:青森中央経理専門学校

難しかったがとても興味深く聞くことができた(8名)勉強になった・自分の為になった(11名)等の声があった。難しかった(2名)等の声があった。以下合計38名のアンケート結果

	講座前					講座後				
A 金融・経済に興味がある	1 ともある	2 少しある	3 どちらともいえない	4 あまりない	5 ほとんどない	1 ともある	2 少しある	3 どちらともいえない	4 あまりない	5 ほとんどない
		3	19	9	7	10	20	5	2	1
B 将来金融関係の職に就きたいと思えますか?	1 就きたい	2 少しは就きたいと思う	3 どちらともいえない	4 あまり就きたくない	5 就きたくない	1 就きたい	2 少しは就きたいと思う	3 どちらともいえない	4 あまり就きたくない	5 就きたくない
	1	11	17	8	1	4	16	14	3	1
C 金融・経済関係の勉強は今後したい?	1 とてもしたい	2 少しはしたいと思う	3 どちらともいえない	4 あまりしたくない	5 したくない	1 とてもしたい	2 少しはしたいと思う	3 どちらともいえない	4 あまりしたくない	5 したくない
	5	18	10	4	1	7	23	5	2	1
D 興味のある(知りたい)のは?(いくつでも)	1 社会保険	2 生命保険	3 損害保険	4 税金	5 不動産	1 社会保険	2 生命保険	3 損害保険	4 税金	5 不動産
	14	12	9	22	10	18	18	19	25	14

②その他

現状の高校生ではあまり学習する機会のない「金融」について、初歩から体験してもらい、金融関係の職業に早期に興味を持ってもらう、また「お金」のありがたみに気づいてもらう体験講座。工夫した点としては、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会の「10代から学ぶパーソナル・ファイナンス」のテキストを受講生に配布し一部使用した。動員に関しては青森県内高等学校にDM送付また、県教育庁の高校生スキルアッププログラムや県民カレッジ講座からも高等学校側に告知して頂いた。青森駅からバス送迎をし、アクセスの利便性をはかった。